

虹の都へ (1933)

GOING HOLLYWOOD

メディア 映画
ジャンル ミュージカル ロマン스
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 76分
初公開日 不明

【解説】
封建的な女学校でフランス語教師をしているデイヴィスは自由な考えの持ち主で、いつもお偉方ともめてばかりいる。そこへラジオから流れてきたビングの甘美な歌。おもわず触発され、キャリアを投げうって彼女はハリウッド・スターを目指すことになる。持ち前のヴァイタリティで既に飛ぶ鳥を落とす勢いのビングに近づき認められ、我がまま放題の大女優のスタンド・インとなった彼女。幸運にもそこでチャンスをつかんだ彼女は一躍時の人となるのだが、ビングとの恋仲は、気の強さがたたって暗礁に乗り上げる。ビングは彼女から去り、大女優の元に走るが……。冒頭のテンポは、さすが“ローリング・トゥエンティーズ”周辺の時代を描かせれば天下一品のウォルシュ、と唸らせられる快調さなのだが、物語が展開するにつれ、これといって取り柄のないまま、常套的な線に落ち着いていくのは惜しい。ビングがいかに若い！

【クレジット】		
監督	ラオール・ウォルシュ	Raoul Walsh
製作	ウォルター・ウェンジャー	Walter Wanger
原案	フランセス・マリオン	Frances Marion
脚本	ドナルド・オグデン・スチュワート	Donald Ogden Stewart
撮影	ジョージ・フォルシー	George Folsey
音楽	ハーバート・ストサート	Herbert Stothart
出演	マリオン・デイヴィス	Marion Davies
	ビング・クロスビー	Bing Crosby
	フィフィ・ドーセイ	Fifi D'Orsay
	スチュアート・アーウィン	Stuart Erwin
	ネッド・スパークス	Ned Sparks
	パッツィ・ケリー	Patsy Kelly
	ボビー・ワトソン	Bobby Watson
		シルヴィア・ブルース
		ビル・ウィリアムズ
		リリー・イヴォンヌ
		エルネスト・P・ベイカー
		コンロイ
		ジル
		トンプソン